



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 東都水産株式会社

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	28,872	△6.3	436	—	480	—	365	833.7
25年3月期第1四半期	30,822	0.8	△36	—	△24	—	39	△85.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 648百万円 (199.9%) 25年3月期第1四半期 216百万円 (△47.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	9.19	—
25年3月期第1四半期	0.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	24,902	10,342	41.5	259.86
25年3月期	24,881	9,774	39.3	245.57

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 10,342百万円 25年3月期 9,774百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	2.00	2.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	120,000	△3.1	800	594.4	850	320.9	500	240.0	12.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	40,260,000 株	25年3月期	40,260,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	459,410 株	25年3月期	458,097 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	39,801,526 株	25年3月期1Q	39,805,926 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、安倍新政権による積極的な経済政策や金融政策に対する期待感から円安や株価上昇が進み、輸出産業を中心に持ち直しが見られたものの、円安による物価の上昇懸念、長期化する欧州債務問題、不安定なアジア新興国景気など先行き不透明な状況で推移しました。

水産物卸売市場業界におきましては、耐久財や半耐久財の個人消費に明るさはあるものの、食料品に対する消費者の低価格・節約志向は根強く、加えて市場外流通の増加、水産資源の減少、放射能汚染による出荷制限など、集荷・販売に苦戦する厳しい事業環境が続いております。

このような状況のなか当社グループは、消費者の皆様にご納得いただける安全・安心でおいしい商品をご提供できますよう、集荷・販売の強化に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期と比べ6.3%減少の28,872百万円となりました。売上原価の圧縮による売上総利益率の向上、人件費や貸倒引当金繰入額等の削減による販売管理費率の改善により、営業利益436百万円（前年同期営業損失36百万円）、経常利益480百万円（前年同期経常損失24百万円）となりました。特別利益に、東京電力㈱の福島原子力発電所における事故に伴う損害賠償金として「受取損害賠償金」57百万円を計上しました結果、四半期純利益は前年同期と比べ833.7%増加の365百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

① 水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、売上単価は前年同期を上回りましたが、取扱数量が下回りましたため、売上高は前年同期と比べ6.3%減少の26,906百万円となりました。売上原価の圧縮による売上総利益率の向上、人件費や貸倒引当金繰入額等の削減による販売管理費率の改善により、営業利益118百万円（前年同期営業損失257百万円）となりました。

② 冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、売上高は前年同期と比べ7.7%減少の1,798百万円となりましたが、利益率重視の業績管理を行うことにより売上総利益率の向上に努めました結果、営業利益は前年同期と比べ62.7%増加の263百万円となりました。

③ 不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、賃貸物件の稼働率向上及び為替レートが円安に推移したことにより、売上高は前年同期と比べ3.5%増加の167百万円となりました。人件費の削減にも努めました結果、営業利益は前年同期と比べ6.5%増加の71百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ21百万円増加し、24,902百万円となりました。流動資産は103百万円増加し、16,424百万円となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が187百万円、商品及び製品が182百万円減少したものの、その他に含めて表示しております前渡金が236百万円、短期貸付金が226百万円増加したことによるものです。固定資産は81百万円減少し、8,477百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ547百万円減少し、14,559百万円となりました。流動負債は317百万円減少し、9,520百万円となりました。主な要因は、短期借入金が95百万円、支払手形及び買掛金が78百万円、その他に含めて表示しております未払消費税等が247百万円減少したことによるものです。固定負債は230百万円減少し、5,039百万円となりました。主な要因は、長期借入金が285百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ568百万円増加し、10,342百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.3%から41.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、平成25年5月13日に発表しました数値から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,065	5,896
受取手形及び売掛金	7,236	7,048
商品及び製品	3,682	3,499
仕掛品	50	19
原材料及び貯蔵品	206	301
その他	206	730
貸倒引当金	△1,127	△1,071
流動資産合計	16,321	16,424
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,582	3,590
その他(純額)	2,560	2,580
有形固定資産合計	6,142	6,171
無形固定資産	545	563
投資その他の資産		
破産更生債権等	3,061	2,800
その他	1,727	1,644
貸倒引当金	△2,917	△2,701
投資その他の資産合計	1,871	1,743
固定資産合計	8,559	8,477
資産合計	24,881	24,902
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,319	3,240
短期借入金	5,260	5,164
未払法人税等	147	147
賞与引当金	56	120
その他	1,053	847
流動負債合計	9,837	9,520
固定負債		
長期借入金	2,071	1,785
退職給付引当金	1,666	1,701
資産除去債務	85	85
その他	1,446	1,466
固定負債合計	5,269	5,039
負債合計	15,107	14,559

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,017	1,017
利益剰余金	5,934	6,221
自己株式	△60	△61
株主資本合計	9,267	9,553
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	217	280
繰延ヘッジ損益	0	1
土地再評価差額金	329	329
為替換算調整勘定	△39	178
その他の包括利益累計額合計	506	789
純資産合計	9,774	10,342
負債純資産合計	24,881	24,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	30,822	28,872
売上原価	29,184	27,091
売上総利益	1,638	1,781
販売費及び一般管理費	1,674	1,344
営業利益又は営業損失(△)	△36	436
営業外収益		
受取利息	6	11
受取配当金	25	28
通貨スワップ評価益	47	8
その他	25	12
営業外収益合計	104	60
営業外費用		
支払利息	22	15
和解金	20	—
その他	49	2
営業外費用合計	92	17
経常利益又は経常損失(△)	△24	480
特別利益		
受取損害賠償金	—	57
受取補償金	195	—
特別利益合計	195	57
税金等調整前四半期純利益	171	537
法人税、住民税及び事業税	128	188
法人税等調整額	3	△16
法人税等合計	131	171
少数株主損益調整前四半期純利益	39	365
四半期純利益	39	365

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	39	365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△46	62
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	222	218
その他の包括利益合計	176	282
四半期包括利益	216	648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216	648
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,712	1,947	162	30,822	—	30,822
セグメント間の内部売上高 又は振替高	185	609	28	823	(823)	—
計	28,898	2,557	190	31,646	(823)	30,822
セグメント利益又は損失(△)	△257	161	66	△28	(7)	△36

(注)1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△7百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,906	1,798	167	28,872	—	28,872
セグメント間の内部売上高 又は振替高	134	593	28	757	(757)	—
計	27,040	2,392	196	29,629	(757)	28,872
セグメント利益	118	263	71	453	(16)	436

(注)1. セグメント利益の調整額△16百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。